

愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について

背景

- 愛玩動物看護師の養成・資質向上は、愛玩動物看護師制度推進に向けた検討事項の柱の一つ。
- 生涯教育の実態調査として、令和6年度第3回の合同会合において、愛玩動物看護師関係の2団体（（一財）動物看護師統一認定機構・（一社）日本愛玩動物看護師会）による生涯教育の実施状況を報告。今回は（一社）日本動物看護学会による生涯教育の実施状況を報告。

一般社団法人 日本動物看護学会による生涯教育

日本動物
看護学会
概要

- 目的：人と動物の共生を育む社会の醸成に貢献するため、動物看護学に関する研究と教育を推進すること。
- 設立：1995年12月
- 事業：
 - 1 動物看護学に関する年次学術集会（大会）・研究会（例会）の開催
 - 2 学会誌『Veterinary Nursing』（査読制学術誌）およびニューズレターの発行（J-STAGEおよび学会サイト掲載）
 - 3 動物看護学研究の支援
 - 4 動物看護学教育の支援
 - 5 その他当法人の目的を達成するために必要な事業
- 日本学術会議指定の協力学術研究団体
- 会員数：460名（2025年5月現在）
愛玩動物看護師、獣医師、動物看護学・動物心理学・臨床心理学・動物行動学等の研究者、学生、一般社会人等、職種や研究領域の違いを超えて多くのメンバーが参加。
- 年会費：正会員 5,000円 賛助会員 30,000円 法人会員 10,000円
- 会員特典：学会誌『Veterinary Nursing』への筆頭著者としての投稿
学会誌『Veterinary Nursing』のご案内（年1回、J-STAGE公開目録のお知らせ）
大会・例会での発表資格の取得、および会員価格での参加
ニューズレター（学会行事や会員からの投稿記事を掲載）の配布
学術講座（大学教員等による学術講演動画）の視聴
会員郵便物へのチラシの同封や会員向けLINEでの発信など広告支援（賛助会員様に限ります）
当ウェブサイト内への会員名およびリンク先URLの掲載（賛助会員様に限ります）
- 学術大会：[学術集会・大会 | 日本動物看護学会](#)（年1回開催）
 - ・内容：シンポジウム、セミナー、一般演題
 - ・直近は第34回大会（30周年記念大会）
開催日：2025年9月13日（土）～9月14日（日）
会場：酪農学園大学（北海道江別市）
テーマ：現場の力・動物看護の輝きー動物看護師が支える未来ー
大会長：山下和人 プログラム：[開催のお知らせ34](#) 抄録集：[第34回大会抄録集](#)
- 学術講座：愛玩動物看護師等に向けた生涯教育
（学術団体なので、学会誌の発行と学術集会の開催が活動の主体）

愛玩動物看護師の生涯教育の実態調査結果について

一般社団法人 日本動物看護学会による生涯教育

学術講座

- 学会員の卒後教育を支援するために学術講座を開講。講師は大学教員が中心。
- 講座テーマ：『臨床動物看護学』『動物愛護・適正飼養』『基礎動物看護学』など
- 対象者：愛玩動物看護師、動物看護を学んだ者、獣医師、心理学関係の方など
- 視聴方法：日本動物看護学会の会員専用ページから可能
- 講義時間：1回につき60～90分
- 開年度：令和4年度
- 講座総数：20講座（令和7年11月現在）
- 累計受講者数：集計なし
- 受講条件：学会会員限定（無料）

成果や課題等

- 会員全員が受講しているわけではないが、休みの日などいつでも気軽に視聴できる環境を提供。
- 学術講座数、学術講座内容について、引き続き検討し、年4講座を想定し追加していく予定。
- 資格認定ではなく、学術団体らしい高度な内容と職域を越えた幅広いテーマで扱っていきたい。

愛玩動物看護師関係団体による生涯教育の比較

	一般財団法人 動物看護師統一認定機構	一般社団法人 日本愛玩動物看護師会	一般社団法人 日本動物看護学会
	『愛玩動物看護師 生涯教育講座』	動物看護大会 学術集会 各支部企画 専門認定事業	学術大会・例会 学会誌 『学術講座』
臨床関連分野 (各科診療補助・看護技術・チーム獣医療 訪問看護・院内コミュニケーション等)	◎	◎	◎
愛護・適正飼養関連分野 (行動学・栄養学・グリーフケア・動物福祉等)	◎	◎	◎
社会課題関連分野 (公衆衛生・社会福祉・災害対応等)		○	◎
職業倫理・法制度 (キャリア形成等)		○	○

◎：重点的な取り組み分野（各団体の現状＋団体へのヒアリング結果）

○：取り組み分野（各団体の現状）

(参考) 日本動物看護学会の生涯教育内容について

一般社団法人 日本動物看護学会（令和7年度）

生涯教育
内容
(1/2)

『学術集会（大会）』

■ [学術集会・大会 | 日本動物看護学会](#)（年1回開催）

第34回学術集会・大会（30周年記念大会）

- 開催日：2025年9月13日（土）～9月14日（日）
- 会場：酪農学園大学（北海道江別市）
- テーマ：現場の力・動物看護の輝き－動物看護師が支える未来－
- 内容：シンポジウム、セミナー、一般演題
- 大会長：山下和人
- プログラム：[開催のお知らせ34](#) 抄録集：[第34回大会抄録集](#)
- 参加費用：会員 事前登録 4,000円／当日登録 5,000円
非会員 事前登録 5,000円／当日登録 6,000円
学生 無料
- 参加人数：238名

- 1) 基調講演「臨床現場で愛玩動物看護師に期待される役割と可能性」
■講師：山下和人（酪農学園大学）
■日時：2025年9月13日
- 2) 教育講演①「動物を『眠らせる』ための薬の理解
－ 全身麻酔と安楽死の基本的理解をめぐって －」
■講師：佐野忠士（帯広畜産大学）
■日時：2025年9月13日
- 3) 教育講演②「高齢犬の看護に役立つスキル」
■講師：安部里梅（PET CARE HOME Lyuca）
■日時：2025年9月14日

4) パネルディスカッション『さまざまな分野で活躍する動物看護師』

- 講師：中村美里（一般財団法人 沖縄美ら島財団）、
鎌田 祐奈（円山動物園）、
秋吉珠早（NOSAI北海道）、
湯村紗永（社台コーポレーション）、
増田麻子（公益財団法人 北海道盲導犬協会）、
矢部真彩（ふらっと動物病院）
- 日時：2025年9月14日

5) 「動物災害をテーマにした教育」

- 講師：前鼻彰人（吉田学園動物看護専門学校）
- 日時：2025年9月14日

6) 「教育現場から考えるペット防災－愛玩動物看護師の使命と実践」

- 講師：小沼 守（千葉科学大学）
- 日時：2025年9月14日

『例会』

■ [例会記録 | 日本動物看護学会](#)

第15回 関西地区例会

「コミュニケーション理論と信頼関係の構築」

- 講師：岡江晃児（ソーシャルワーカー）
- 日時：2026年3月8日予定
- 会場：神戸動植物環境専門学校
- 参加費用：会員 3,500円
非会員 4,500円
学生 1,000円

『学術講座』

- 会員の卒後教育を支援するために学術講座を開講。
登録講座は少数だが、講演者は大学教員を中心に質の高い講座を提供。
- 講座テーマ：『臨床動物看護学』『動物愛護・適正飼養』『基礎動物看護』等
- 対象者：愛玩動物看護師、動物看護関係者、獣医師、心理学関係の方等
- 視聴方法：日本動物看護学会の会員専用ページから可能
- 講義時間：1回につき60～90分
- 開年度：令和4年度
- 講座総数：20講座（令和7年11月現在）
- 累計受講者数：集計なし
- 受講条件：学会会員

臨床動物看護学

- 『動物看護とリハビリテーション※』
■ 講師：宮田 拓馬（日本獣医生命科学大学）
- 『猫下部尿路疾患の栄養管理』
■ 講師：荒川 真希（ヤマザキ動物看護大学）
- 『周術期看護における麻酔管理※』
■ 講師：関 瀬利（日本獣医生命科学大学）
- 『動物の看護を行う上での腫瘍治療の基本』
■ 講師：皆上 大吾（東京農工大学）
- 『保定の考え方』
■ 講師：村尾 信義（倉敷芸術科学大学）
- 『尿検査の基本』
■ 講師：石岡 克己（日本獣医生命科学大学）
- 『輸血療法と動物看護』
■ 講師：小野沢 栄里（日本獣医生命科学大学）
- 『高齢動物の周術期看護』
■ 講師：佐野 忠士（酪農学園大学）

動物愛護・適正飼養

- 『観賞魚の健康管理（飼育・診察・臨床）』
■ 講師：和田 新平（日本獣医生命科学大学）
- 『獣医療ソーシャルワークと愛玩動物看護師の役割』
■ 講師：清水 優那（Veterinary Social Worker）
- 『産科・生殖器科の診療において愛玩動物看護師としてできること』
■ 講師：堀 達也（日本獣医生命科学大学）
- 『愛玩動物の適正飼養※』
■ 講師：清水 宗春
- 『ストレスのないウサギの飼い方※』
■ 講師：小沼 守（千葉科学大学）
- 『動物福祉と倫理・愛玩動物看護者の倫理綱領』
■ 講師：小田 民美（日本獣医生命科学大学）
- 『犬と猫の比較栄養学※』
■ 講師：石岡 克己（日本獣医生命科学大学）

基礎動物看護学

- 『くらしのなかの毒～伴侶動物の中毒～』
■ 講師：田島 剛（日本獣医生命科学大学）
- 『動物微生物学～ウイルスと消毒の話を中心に～』
■ 講師：塩川 舞（日本獣医生命科学大学）
- 『病理組織検査のために知っておくべき基礎※』
■ 講師：吉村 久志（日本獣医生命科学大学）
- 『動物遺伝学～基礎から応用～』
■ 講師：近江 俊徳（日本獣医生命科学大学）
- 『愛玩動物の感染症治療薬※』
■ 講師：明石 敏（九州保健福祉大学）

※印のものは、過去の大会講演の再配信です